



春日井ロータリークラブ

2013~2014 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンとして世界・地域に奉仕しよう

市民がウォーキングや散歩の折りに、それぞれの故郷を思い出し、自然や緑を大切にする心の糧となるよう、全国ロータリークラブの協力により、各地の県木・市木60余本を植樹しました。
(春日井ロータリークラブ創立25周年記念事業 1994年4月)



総合保健医療センター
※イメージ図



落合公園体育館

会 長：屋嘉比良夫
副 会 長：大橋 完一
副 会 長：太田 弘道
幹 事：加藤久仁明
会報委員長：近藤 太門

例 会 日：金曜日 12:30~13:30
例 会 場：ホテルプラザ勝川
事 務 局：春日井市鳥居松町5-45
T E L：(0568)81-8498
F A X：(0568)82-0265
E - Mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ロータリーの森の桜

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----|----------|
| | 司会 | 伊藤 純君 |
| ・点 鐘 | | 屋嘉比良夫君 |
| ・国 歌 | | 「君が代」 |
| ・ROTARY SONG | | 「四つのテスト」 |
| ・ビジター紹介 | | 屋嘉比良夫君 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 屋嘉比良夫君 |
| ・春日井警察署員表彰 | | |
| ・卓話 春日井警察署長 | | 夏目 佳明氏 |
| ・幹事報告 | | 加藤久仁明君 |
| ・点 鐘 | | 屋嘉比良夫君 |

先週の記録

会長挨拶 会長 屋嘉比良夫君

本日は、職業奉仕委員会の企画によりトヨタ博物館にて職業例会を開催する事が出来ました。ありがとうございました。皆さんご承知の通り、今やトヨタ自動車は世界一の車メーカーです。2014年3月決算の上方修整では、販売台数1,010万台、営業利益は2兆4,000億円、純利益は1兆9,000億円と新聞等に出ていました。途方もない数字で、ただただ、すごい。の一言です。原価改善には前期から力を入れられ、2,400億円もの利益をもたらし、リーマンショック前の二倍に達しているそうです。円高効果は8,800億円に達しているそうですが、ここで忘れてならないのは、ここに下請け部品メーカーが応じた、値下げ協力分も含まれていると言う事です。下請の企業経営者のこんな声が聞こえて来ます。「円高の時に、値下げに協力した分をトヨタさんが返してくれないと賃上げは難しい…」と。

識字率向上月間

例会予定	3月14日(金) 卓話 小川 長君	3月21日(金) 休会	3月28日(金) 祝福 卓話 伊藤正之君	4月4日(金) 理事役員会 11:30 卓話自己紹介 日比雄将君 芝田貴之君
------	-------------------------	----------------	----------------------------	---

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

2014年3月7日(金)第2176回(3月第1例会)

これは業界メーカーこそ違え、弊社も一緒であります。下請企業は、円安によりむしろ、原材料費や資材等の輸入高騰を被むり易く、業績は悪化しています。トヨタの好決算も遠い世界に見えていますが、いずれにいたしましても我が愛知県にこんなビックな素晴らしい企業が有ると言う事は、廻り廻って私達にも思恵が有る事と思っていますし、愛知の誇りであり希望であります。車社会と言われて親しく早や50年以上になりますが、トヨタさんはこの間、多くの車種を作られ改良、改善にそして原価改善を重ね他の企業では真似の出来ない程の努力をへて今日のトヨタ自動車有るのだと思います。素晴らしい会社であります。

私が若い頃、中古車で乗ったパブリカやコロナそしてカローラ等、当時の思い出の車を見るのを楽しみにしています。皆さんも深い感慨と思い出が有るのではないのでしょうか？楽しんで見学させて頂きましょう。

幹事報告 幹事 加藤久仁明君

◎例会変更の案内

岡崎南 RC	3月25日(火) 3月25日(火) 12:30 追悼例会の為ソサイエホール大平
名古屋空港 RC	3月24日(月) 3月24日(月) 職場例会の為

◎ビジター紹介

会長 屋嘉比良夫君
○名古屋空港RC 水谷 文昭君

E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

出席報告**委員長 伊藤 一裕君**

会員 58名	欠席 28名	出席率 65.1%
先々週の修正出席	欠席 0名	出席率 100%

ニコボックス報告**委員長 成瀬 浩康君**

○トヨタ博物館を見学して

足立 治夫君	青山 博徳君	長谷川英輝君
林 憲正君	伊藤 一裕君	伊藤 純君
亀谷 鉦一君	加藤久仁明君	加藤 宗生君
風岡 保広君	北 健司君	小島 啓治君
近藤 太門君	松尾 隆徳君	名畑 豊君
速水 啓志君	中川 健君	中島 泉君
小川 長君	岡嶋 良樹君	宅間 秀順君
和田 了司君	屋嘉比良夫君	山田 治君
山田 倫章君	芝田 貴之君	古屋 義夫君

○ご協力ありがとうございます。 成瀬 浩康君

2月15日IM記念講演**講師 武田 邦彦氏**

武田でございます。日本の高度成長期は1956年、戦後11年から始まり1990年まで34年間続いたわけですね。途中石油ショックがあり、その前までは年9%の成長で、その後は4.5%という今から考えますと高成長で、この34年間で国民のGDPは8.8倍になりました。私も昭和18年生まれですから、もちろん水洗トイレは無く汚い臭い汲み取り便所でした。家に風呂があるのは珍しく、そういう時代でした。テレビではアメリカの冷蔵庫のある、若者はでかい車でデートする、ああいう風になりたい。あの頃の私を考えますと、私の子どもはああいう生活をさせたいと願い、必死に働きました。働き蜂とか兎小屋に住んでいるとか勝手なことを言われても一家全員で頑張って90年になり所得はジャパンイブナンパーワンと言われるようになり、我々が努力した目標は達成したのです。そうしたらもったいないとか節約とか突然言い出したのです。節約するなら働かせるな。ヨーロッパ並みの生活、大きな冷蔵庫に大きな車で皆が走る、ガソリンは充分に使う、やれやれと言ってやってみると人生の大半をそれで過ごしたら現実になって来ると全然違う。ゴミが溢れるとかダイオキシンとかウソばかり言って、消費をもの凄く抑制。その結果、1970年には中国に対して人口活動量で3倍だった日本が2005年にはGDPで中国に抜かれ、現在では生産量は中国の2.5分の1になってしまった。日本政府の計画は更なる節約を続け、何の節約かわかりませんが、2050年には4億kL、中国は40億kL増やす予定なので1:10になってしまう。これは第2次世界大戦の日本とアメリカと同じで、尖閣諸島どころか沖縄までとられるのは決まっている。事実、去年の8月15日人民日報

の一面に出した論文では尖閣諸島は当たり前、沖縄は中国領と公のものに書いているわけですから、日本は何をつまらないことやっているのかと僕は思っているわけです。

1990年にそういう国民的錯覚と言いますか、生じて環境問題だとか、僕に言わせれば子どもみたいな問題ですね。国を発展させなければならないのは当然で、中国、ロシア、アメリカと3大国に囲まれている国は世界で日本だけです。僕らの先輩の爺さん方は鎖国するなり、軍艦を買うなりして必死になって国を守ってきたのに、僕らの親達は何をしてきたのかと思うのです。尖閣の事故が起こった2ヶ月後に多くのテレビのコメントは「中国人はけしからん」で何を言っているのという感じです。中国が尖閣諸島を獲ろうとしたのが1968年。あそこは石油が1018億バレルもあると推定され、日本では100年分ですよ。中国の指導者の鄧小平は今獲りに行く日本にコテンパンにやられちゃうから力をつけてから獲りに行けと言ひ、その後中国は経済的にも伸びていくわけです。温暖化なんて言ってませんよ。地球は寒冷化して行くのですから、この話は時間が無いので今日はしません。一方、日本は節約。中国が発展して日本は衰えていくわけですから。中国はいよいよ日本の2倍以上の力になったので狙っていたのです。2050年までに沖縄を獲るぞと言っているのに日本政府は全く反応する力がありません。機会を伺っていたら2011年3月11日に大震災、原発の爆発があったじゃないですか。よしということでした。中国は天晴れですよ。隣の国を攻める時は国が衰退して弱っている時に攻める。他人の土地だから獲りに行くのですよ。今の日本に他人の土地を獲りに行く勇気は無いですね。我々は子どもに対してどういう国土を残しておくか、全く考えていないですね。それに対し中国人は立派ですよ。何とかして尖閣諸島を獲って石油を確保しようとし、軍隊は太平洋に出るのを開こうとしているのですから。我々はどれだけボケてしまったのか。中国が尖閣諸島に上陸して初めて地図を開くようでは子どもに対して親の責任は果たせないのじゃないか。今も世界は力の世界で経済力でも軍事力でも技術力でも上にいかないとやられてしまうのは当然です。これは私も含めた親の責任です。

15年前に名古屋大学の教授だった頃、資源の専門家ですが、日本は本当に変な国で石油が枯渇すると思っている人がいるのです。石油なんか枯渇するはずが無いんです。地球ができた時は大気は95%CO2で今でも火星と金星は95%CO2ですが、地球には生物ができ、Cを食べてOを吐き出し、資源は石炭、天然ガスは地下にあって学問的に計算した数字では2千万年分あるんです。どんなに

て外国には工場を造らない。これが大人の我々の役割です。一番の義務です。収益より先に我々の子どもたちの義務を果たすことです」と言っています。

昔は人生 50 年でよかったですのですが、今は 50 歳以上で生理が無くなった女性は何のために生きていくのかわかりません。哺乳動物、サルまで生理があり、生理が終わると死にます。子供を産むからメスと呼ばれるのであって生理が終わったらメスとは言わない、元メスです。そうした女性が生きているのは何故か。説明できなのかと言われて、必死に研究したら孫の世話をしている婆さんはホルモンが母親時代にまで戻る、若返るのです。これは子孫を大切にするために婆さんは生きています。他人の孫でもいい。爺さんも犬でも同じです。植木鉢は半分くらい。生理の終わった婆さんが生きているのは「お世話」です。婆さんの世話する孫は自分の子のようにして世話するので怪我が無いのに、爺さんの見る孫は怪我ばかりです。他人事なんです。爺さんに孫の世話はダメです。孫の命があぶない。これを知ってなるほどと思ったのは、10 年前に名古屋に来た時に、私は野菜が嫌いでも肉が大好きですが、一日これ一本で野菜が足りるという野菜ジュースをセブンイレブンで見つけて買ったら、レジの 60 くらいのおばさんに「たまには本当の野菜を食べなさいね」と言われてビックリしました。そのおばさんは初対面で僕の妻でも母でもないのに何故僕の健康を気遣ったのか。普通は「もう一本いかがですか」と言うべきです。爺さんではそんなこと言いません。早く死ねって顔をしています。これが 50 歳以上の女性の「お世話」です。それから 50 歳以上の男が生きているのが全然わかりません。僕自身もよくわからない。50 歳以上の男の三悪は「うるさい、臭い、便所掃除しない」。何にもできない。それなのに何故生きているのかと僕はそう思います。50 歳以上で生きている価値ある男は殆ど聞いたことがありません。女は 25 までに子供を二人産み、50 歳まで子供を育て、それからお世話をします。

イクメンを絶対賛成しないというのは、僕の姉が名の通った幼児教育者で本もたくさん出しています。彼女は今では幼児はお母さんが育ててほしい、2 歳半まではと言っています。それは何故かという幼児側の心理的発達がお母さんに育てられないと傷がつくということです。これは生物学的には簡単なことでラット、ネズミである研究すると母親ネズミは自分の子はわかるけれど父親はネズミはわからない。父ネズミは自分の子供を人の子供だって思って殺してしまう。母親は自分の子供だっていうことは本能的にわかるけれど、父親は自分の子供がわからない。母親を見

て母親の横にいるから自分の子供だとわかるわけで、僕ら人間もそうですよ。DNA 検査したらあぶないですよ。姉によると赤ちゃんは母親にこっと笑う時は本当に嬉しくてこっと笑う。お父さんに笑うのはおべっか笑いです。いつ殺されるか判らないから。だからそれを聞いてお父さんが育児すると赤ちゃんは凄くストレスになる。これが傷つけるという。もう一つはイクメンしている夫婦はイクメンしていない夫婦より夫婦関係回数が半分になるというデータがある。夫婦関係は生物学的要求で、本能が削減されると回数も削減されるわけで僕はイクメンは余りいいとは思いません。

結局、女は二人の子供を産み、育て、お世話をして 86 歳の充実した人生を送ることができるけれど、男は兵役は無い、戦争では死ねない、50 歳以上は元々意味が無い、全く空虚な人生である。だから女性より 7 歳早く死ぬわけで、生物が死ぬのは平均ですが、意味ある生物が長く生きて、特に意味の無いのが独身男性で妻帯男性より更に 7 年早く死ぬのです。何故独身男性は 70 歳まで生きているのですかね。動物は早く死にます。10 年前の環境問題が騒がれていた頃に、環境問題で何をすればいいかと質問した男子学生に「君は男だから子供も産めないし、環境が一番いいことは早く死ぬことだね」言ったものです。男が生きている意味は本来、女が 18 歳まで育てた子供の準備をしておくのが男です。私の娘によく言いますが、「子供を 18 歳まで育てても日本は核廃棄物が山ほどあって被爆して死んじゃうよ」とか「会社が中国やタイに出て行って子供の就職ができない」また婦人団体にも「イクメンをさせているけれど日本が繁栄してあなたの子供が幸福になるためには男が土地とか職業、環境や税金などきちんとやっておかないとダメで、18 歳まで育てて終わりじゃなく旦那にイクメンさせてどうするの」そこが今の男性の重要なまちがいかどうか不足している点だと思います。昔の親父は酒飲むと政治の話ばかりだけど今の 40 代の男性は酒飲んで政治や軍事の話をするとは必ず嫌がる。AKB ならいいけど TPP や政治、経済、税の話は非常に難しいが、男はいつも酒を飲み交わして政治経済の話をしていないとコンセンサスができてこないから。普段考えていないから議論するのを嫌がっている。女は 18 歳以降を考えていない。男も考えていなかったら我々の子供は 18 を過ぎたらどうするのかね。これが尖閣諸島に現れていることです。僕が書き続けてきた環境問題の嘘や温暖化対策はしてはいけないと言っているのは、これからの子供が 18 になってから生きるために我々が生きているのですから。我々には 2 つの人生、一つは自分自身。一つは子供ですね。自分自身のために生きても生

きがい無く、男も子供のことを考えて行動すべきです。女は原発問題で子供を通じて原発の未来を心配しており、男が原発に賛成しているのは自分の代だけ良ければいいという考え方で廃棄物が溜まったままです。今の男性は子供のことを考えないように見える。それがメールでわかる。今や非正規雇用だとかフランス人は年間20泊の旅に対して日本人は1泊2日。そういう生活にしてしまったのは我々大人の男が子供の幸福を考えなかったこと、日本の発展を考えなかったことだと最近反省をしております。

どうもご清聴有難うございました。



例会風景



少なく見積もっても1万年分くらいはある。数億年前に死んだ動物の化石で石油は3km下にあるので石油は無くならない。日本だけがなくなると思っている。アメリカはガソリン、石油が無いと国がやって行けない。世界の53%をアメリカで使っていてガソリンが無かったら餓死してしまう。全て石油でできているのでアメリカは脱石油しないのです。石油が無くなれば鉄道を敷いて石油が無くてもやっていけるような国にしますよ。TPPなど戦略的な国ですからアメリカは自分本位の国で長期的でかつ戦力的な国です。そのアメリカがなぜ脱石油をしないのか、その前に何故日本は代替燃料と言っているのか。石油が無くなると思っている国は世界で日本だけです。節電とか、今のエネルギー6億を4億に下げようとしている。こんなことを政策にしている国はありません。どこの国もエネルギーを増やそうとしています。何故増やそうとするのか、エネルギー量が活動量であり、収益でありますから国を発展させるためにはエネルギーを増大させなければならぬのです。節電みたいなアホらしいことをやっているのは日本だけです。節電が国の政策として何故成立しないのかというと、エネルギーが国民の活動量ですからエネルギーを供給することは非常に有益で、戦前の日本は電力会社が20社あったのです。できるだけ電力やガソリンを国民に多く供給して国民一人一人がデートもすれば研究もする、事業もする、幸せになるための政府の最も重要な政策はエネルギーの確保ですから。戦争になってしまったけれど、エネルギーの確保が重要なことは当たり前のことです。だからエネルギーを節約するという政策は日本だけです。地球温暖化でCO2を削減しているのも日本だけです。アメリカもカナダも出せばなし。ブラジル、アルゼンチンなど南米もサンバを踊っているくらいですから100年後を考えて今日も電気を消すなんて、そんな根暗じゃありません。100年後を考えて今年の収益を犠牲にしようなんて暗い民族は日本しかいません。アジアもアフリカもヨーロッパもロシアも出せばなしで削減なんてやっていません。やっているとしたらドイツ、イギリス、日本です。でもやっているように見えて実は3カ国のうちイギリスはプラス5%、ドイツはプラス11%で日本だけがマイナス6%で環境問題のウソです。今は電力が高いといって産業界は原子力発電を再稼働しようとしています。僕はやめた方がいいと言っています。原子力発電は12円と資源エネルギー庁が去年12月に計算して発表していますが、石炭火力は8円で天然ガスは10円。何故石炭火力が高く見えるのか、8円の上に温暖化対策費を上乗せしているからで世界中で日本しかやっていません。産業界はこの高い電気によくや

っていると僕は思います。2年前にカナダから来た教授の奥さんは節電を知らず、何故そんなことをするのかと聞く。まともな人には信じられませんか。シカゴの奥さんは電力を安い所から買っていると行ってましたが、安い所から買うのは当たり前ですよ。アメリカ人は石油が無くなるとは思っていないし、自由主義だからです。我々は自由主義の国家です。自由主義は消費者側から見れば自分で職業を選び、額に汗して稼ぐ。ちゃんと税金を払う。残った金は法律に違反しない限り自分の自由に使わせてくれということです。でも電気だけ、スイッチの下に節電と書いてある。つけてはいけない。こんなことってあるのですか？僕は8年ぐらい1800ccのアリオンに乗っていますが、新車を買おうとしたら販売員が今の日本は省資源とか節電とか言っているのに新車を買わないで売国奴ですよと言われました。また2年半前にラジオ番組で高校生が節電して部屋の温度を28℃にしていると聞いて悲しかったですよ。何故日本の親は子どもを騙しているのだろう。中国もアメリカ、ドイツも節電はやっていません。十分冷やして受験勉強させているのに日本は高校生をいじめている。アメリカ人は日本人の2倍の電気量です。日本人はアメリカの召使だから子どもには我慢させるという日本の親に育てられた子どもはプライドを持つことができませんよ。長距離トラックの運転手からの相談電話は、荷物を納めているが今から仮眠をとるけど、アイドリングはストップと市役所が言っているわけにつけられないと言う。長距離物流という日本の産業界で最も重要な産業界を担って疲れているのだから十分休んで下さいと答えたわけです。働く人が尊敬されないような社会は発展しません。夏にクーラーがかけられないのが当然で冬は暖房がつけられない。エンジンをかけないと寒くて死んでしまうじゃないですか。そこで大手輸送会社では電気毛布を支給していると社長さんは言う。僕は何という社会になったのか、受験生をいじめ、働く人を大切にしない社会。何という社会になったんでしょうね。日本社会の基準が変わってしまったと思うのです。産業界が発展してこそ僕らは豊かな生活を送っているのに。自由主義には生産者側の道徳があって自分のやっていることが必ず正しいと思ってくれないと困るのです。例えばキュウリを作っている農家が美味しく農薬も少ないですよと言って食べさせてもらう。私の所のはまぜいキュウリで農薬がたっぷりついていて食べると健康を害すると言ってはダメなのです。保険会社もあなたが死ぬのを期待していません。生命保険に入ることがあなたと妻の人生を安定させます。車もそうですよ。あらゆるものが売り手の自分のやっている商売に確信を持ってもらわなければ

ならない。商売で相手は幸福になると思って売ってくれないと買い手が買えないですよ。ところが電気は違って、福島原発をやる前から節電と言っているのです。そういう不道徳な企業はいらない。もし電力会社が節電してほしいと思うなら自分の所が作っている電気を使うことが良くないと思うならやめてくれと言いたい。だからおかしいのですよ。昭和16年までは720社あった日本の電力会社は、その時はまともな政府でしたよ。国民が電気を使うほど国は発展し国民は幸福になるという信念があったが、アメリカとの戦争で地域独占にしたのです。そうしないと負けてしまうから。でも戦争後に返す予定が爆撃で発電所が皆やられてしまい無くなったので、やむを得ず戦時体制が続いているのです。こんなのは僕に言わせれば自由主義の日本の恥ですよ。僕は昔、ソ連のスーパーのガラガラなのを見てあいつらは共産主義だから貧しい生活をしているって思ってきた本人ですから。それが電気だけは割り当てて節電と言う。ここにおみえの方の会社は節電してないと思いますが、そんな所に行ったら製品を買う気がなくなっちゃう。ラーメン屋で扉に「ここではラーメンを買わないで下さい、食べないで下さい。節ラーメン」と書いてある。その理由は必ずしもラーメンは栄養のバランスがとれていません。そんなことは判っているって自由主義の下ではラーメン食べてもいいのですよ。共産主義では配給されるからダメですが。僕の出ているテレビ番組で去年にクールビズをやったのですが、僕は「政府に言われないとネクタイをはずせないような野蛮な国には住みたくない」とコメントしました。一人一人が自分の夢を持って頑張る社会だから。ネクタイを何時にははずせとか、電気を消せとか、北朝鮮以下ですよと本当にそう思うのです。

原発事故が起きましたね。1年後いろいろ考えたのです。5歳年下で専攻も一緒の東海教授が嘘ばかり言うのでブログを書いたら、アクセスが増えて一日200万、質問箱に山ほど来て「300万払って家を建てたら原発事故、来週2700万払うけど先生どうしましょう」という質問に「場所がダメだから300万はあきらめて下さい」。原発事故が起こって病院に応援に行ったという看護師さんが半年後に自分の被爆量を調べたら186ミリシーベルト、お腹の中には子どもがいる。先生どうしましょう」という質問。水道局は今日は40ベクレル汚染されたと発表するだけで、水道水でミルクを溶いているお母さんは飲ませれば被爆する、飲ませなきゃ餓死する。規制は10ベクレル、4倍越しているのです。子供にミルク飲ませても安全かどうかと水道局に聞くと「それは私の答えることじゃありません」という返答。私はいろいろ調べてズバリ答

えました。また「原発で電気ができなくなった。何で作ればいいですか」という男からの質問。

「今、家が燃えている中、必死に子どもを救おうとしている母親。それを家が焼け落ちた後にどのメーカーに家を建ててもらおうかとくだらないことを言って、それでも日本の父親か」と答えました。どうしてこんなことを男が言うのか、昔の男は将来のことを考えたのですよ。命を賭けても田畑を守るといのが爺さんだった。自分が二度と耕せなくても子どものために田畑を守ろうとするのが爺さん。今は全然違う。今年の収益が良ければいいと言う。子どものことなんて考えていない。そうすると今の子どもはどうなるのか？中国に領土は獲られるでしょ。2050年に中国は10倍の国になりますから。仕事が無い。アメリカも韓国も電気代は10円ですから中小企業はやっていけないから海外移転していて職場は無くなる。核廃棄物は親父が残すでしょ。年金は崩壊している。消費税は20%になっている。今の子ども達は何を夢見て生きているのかわからない。爺さんに聞くと「俺が死ぬまででいいんだ。お前は勝手にやれ」と答える。これが日本の爺さんかと思っちゃう。どうしてこうなったのかというと、これから先は私の私見です。「女性は0歳から25歳まで二人の子ども(一人では日本民族は絶滅してしまうから)を25歳までに産むこと。25歳から50歳まで二人の子供を子育てをして人生を送る。育児を旦那に頼んではいけません」という私見。産むのは婦人団体は反対しませんが、旦那に育児を頼んではいけないということには「男女共同参画だから」と反論が来るわけです。女は国のために子を二人産むのに対して男は兵役に行く。25歳から50歳まで女は子育てをするのに大して男は戦争に行つて死ぬのです。これがバランスです。簡単に言えば女は子どもを産み、男は縄張り確保するというので、ちゃんと昔も男女共同参画です。昔のお母さんは威張っている旦那に対して我慢強くはなかった。今と同じだけ次の戦争で死ぬのだからと思って我慢したのです。女性が子を産んで18歳まで育てる。子供は18歳からが人生で土地が無いと耕せないから戦争したのです。だから独身男性でも戦地に行つて突撃して死んだのは何故か？自分の子どもを守るだけじゃなく、日本人の子どもを守ったのです。独身男性が戦争に行つて死ぬのは日本民族の全体として行動しているのであつて自分の子どもがいなくても姉の子や妹の子を考えて突撃するのです。そういうのが一つの人間社会だったのです。今は女は子どもを18歳まで育てたら野垂れ死にしてもいいと考え、男も尖閣も沖縄も守らず、職も確保せず、外国に工場を造る。私はトヨタ自動車の重役に「どんなに収益が悪くなくても絶対に国内だけにし